

開催日時 2023（令和5）年10月2日（月）13:30

場所 藤沢市立羽鳥中学校 図書室

出席委員等	<ul style="list-style-type: none"> ・青木 茂道（会長 / 青少年育成協力会会長） ・小河 愛由美（地域協力者）※遅刻 ・能勢 敏之（民生委員・児童委員） ・秋田 典子（主任児童委員） ・市村 慶子（社会福祉法人いきいき福祉会ラポール城南） ・黒川 康弘（社会福祉法人いきいき福祉会ラポール城南） ・岩淵 富美代（前学校評議員） ・齋藤美江子（元PTA会長・前学校評議員） ・林 久美（前学校評議員） ・三觜 恵加（PTA会長） ・若林 理恵（藤沢市社会福祉協議会明治地区担当 CSW） ・深津 礼子（藤沢市立羽鳥中学校 校長） ・平井 早苗（藤沢市立羽鳥中学校 教頭） ・神山 千明（藤沢市立羽鳥中学校 学校生徒指導担当）
次第	<p>1. 開会 深津校長</p> <ul style="list-style-type: none"> ・黒川委員挨拶（勤務異動により、委員辞職の挨拶。小学校と中学校の違いなどを考えながら、と思っていた先の異動です。今後もよろしくお願いします。） ・市村慶子委員紹介（明治地区の発展へ寄与していきたい、と思います。） <p>2. 議題</p> <p>（1）学校の様子（各学年行事・学校生活全体について） 校長・生徒指導担当より （神山先生より・3年生学年所属・学校生徒指導より）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ感染の影響を大きく受けた学年です。宿泊学習も一年の八ヶ岳宿泊を始め、学校行事も徐々にできるようになってきた。このことも影響し、本来持っている力を出していく場面が増え、成長の様子が見られる。合唱祭も最上級生として、どのクラスも取り組みに一生懸命に行っている様子を感じられた。 ・学校全体的に、落ち着いている様子が見られる。学校の生活の部分で何かが壊れた、などの対応をする時に情報共有もできる。この落ち着いている様子を維持していけるよう、見守り、導いていきたい。 <p>（三觜委員） 合唱祭の移動の様子も見て、非常に落ち着いていた。挨拶もよくしてくれる。</p>

(校長)

- ・夏休み明けの時に、大きな事故（水難事故など）もなく過ごすことができる様子が見られ、とても安心した。
- ・部活動のそれぞれの試合で、頑張っている様子が見られた。県大会、全国大会に進出した生徒もいた。9月からは新チームの試合・活動も始まっているので、活躍に期待していきたい。
- ・御霊神社のお祭りが、久しぶりに開催された。しかし、本校は定期試験前で、中学生の姿はあまり見られなかった。地域の活動が徐々に開催されてきたことにうれしさを感じている。
- ・体育館の準備など、非常に早く設定できた。校長自らも手伝おう、と思っていたが、あっという間に終わっていた。
- ・以前は学年劇を行っていた。学年劇を行っていた時は今よりも小規模校であった。コロナを機に、学年劇に代わりステージ・展示部門で分かれ、日頃の学習活動の発表の場面にもなっているように思う。
- ・今年は、体育館では全学年の観覧とした。残暑厳しい日ではあったが、暑さ対策を施し事故がなく、対応することができた。
- ・今年度は、有志での発表者は全て女の子たちだった。
- ・鑑賞している生徒たちも、大変協力できで、マナーを守って鑑賞できた。
- ・展示部門（教科での作品・文化部の作品・有志の方々の作品展示）も、行われた。生徒達は授業時間に学年ごとに鑑賞している。それぞれコメントを書いている。支援級6組の作品への賞賛も多く、6組担当職員からも喜びの声が聞こえてきた。
- ・合唱祭実施直前まで、学級閉鎖などもあり、心配をしていたが、無事に開催することができ、うれしく思う。合唱祭前の練習（コモンスペースなど）からも合唱の様子が聞こえ、頑張っている様子が声からも感じられた。本番まで、様々なことがあったと思うが、よく頑張っていた。

(青木会長)

- ・コロナ前と後では、様々な違いがある（例えば、小学校の運動会のやり方など）
- ・9月19日～21日の展示の様子を参観、PTAの保護者さんの対応をしていた。コロナ前よりも、少ないので、少し情宣の仕方も必要になるかもしれない。

(小河委員)

- ・学校に行けない生徒の対応はどのような対応しているのか。

(校長)

- ・以前は「感染が怖い」という生徒がいた。現在は、個々により、様々な状況がある。学校に来れないけれども他（公共機関含む）の機関に通学する、本校で少人数・別室で対応してる生徒もいる

(2) 本校の課題共有 (学校評価アンケート)

(青木会長)

コロナ前と後の比較について学校評価の資料を参照に検証していきたい。

(校長)

- ・学校評価について (評価実施の方法・生徒の満足度を数字化している。)
- ・施設管理 (保護者の方々の花壇などの作成も含め) 評価が高い。
- ・掃除の仕方 (バックワイパーの仕方・掃除の仕方が脈々と引き継がれている・クリーニングマイスターについて)
- ・行事について (多くの生徒が意識を持って取り組んでいる。)
- ・授業について・教員の対応 (丁寧な対応)・授業のわかりやすさなど、などの分野でアンケートを採っている。
- ・授業については、夏休み中に校内研修を実施している。
- ・生徒会活動などに対しても、評価が高い。
- ・昨年度は、感染対策を施しながらも、徐々にできることが増えてきたことも、充実していた、満足していたことにもつながっているのかと思われる。
- ・成績について4観点 (国語は5観点) だったものが、2022年度から変更になった。評価についてのより深い説明・理解をいただけることが課題とも考えられる。
- ・2023 (令和5)年4月学力状況調査によると、教科的なスコアについては全国平均よりも高。しかし、「生徒質問紙」の項目の中には、全国・県の平均を下回っているものがあった。一方、基本的な生活習慣について「朝ご飯を毎日食べる」「新聞をよく読んでいる」は、平均よりも上回っている。

(秋田委員)

- ・合唱祭の生徒の様子…… 6組生徒と一緒にいった。その際に公共のバスで行ったが、その際の様子 (待っている状況・バス内で私語を慎む・座席を譲るなど) が見られた。PTAの方々にも挨拶している姿を見て、その様子に感動した。
- ・文化祭…… 6組のコメントカードを読んだが、非常に丁寧に書かれていた。モチベーションにつながる。

(林 委員)

- ・羽鳥中学校出身の生徒がバイトさんできているが、非常に掃除の仕方を身につけている。
- ・初めて受験を控える保護者からの相談 (進路を控えたときの様子など) されることもある。生徒だけではなく、保護者も「受験・進路」に対して不安はある。保護者向けの対応などもしてもらえるいいのでは、と思う。

(市村委員)

- ・文化祭で作品が展示され、非常に喜んでいた。
- ・試験前に、勉強するスペースを設けている。なかなか活用する生徒がいないので、生徒の居場所の一つとして活用してほしい。普段、学校に行きにくい生徒さんに対しても、そのような応援はできるのではと思う。学校から一回帰ると、なかなか行きにくい。以前は学校から直接行くことも許可されていたので、今後もそのような流れができればと思う。情宣とし

て紙ベースで配付しても、なかなか行き渡らない、ということも起因しているかもしれません。

(黒川委員)

・「困ったときに相談できる」が少ない、との状況に対して、地域の居場所を作る、という視点でもより活発にしていきたいと思う。

(青木会長)

・自習室の活用については、今後の課題としていきたい(学校より直接行くこと・でもあまりに多く行くケースも考える必要があるのでは)

(市村委員)

・今までは、そんなに多くはないので、大丈夫かな、と思う。

(岩淵委員)

・どうやったら学校に行きやすくなるのかな、と思う。サブグラウンドの声を聞いていると非常に楽しそうに思う。この楽しさを共有するにはどうしたらいいのか、と思うことがある。

(能勢委員)

・「地域との繋がり」をどのようにしていったらいいのか、と思う。以前明治市民センターに見学に来た小学生が、歌を披露してくれたことがあった。このように、地域に関わることをどのようにしたらいいのか、と思うことがある。

(青木会長)

・「公園の役割」「地域の役割」は、子どもたちにとって社会の一步と思う(ルールを守るとか等)。

(齋藤委員)

・学校生活に対しては「楽しい、活発に活動している」と学校評価に多い。学校に行きにくい生徒にとっては、これには限らないだろうと思う。モヤモヤしている気持ちを声に出す、ことで救われることがある。地域の居場所作り、いつでも行けて話すことができる大人(顔を合わせることが多ければ、少しずつ安心感をもつことにつながるのでは)場所があればと思う。

(若林委員)

・地域の人たち運営で生徒が気軽に立ち寄れる場所(カフェ的なもの)がある地区もある。そこで自分が「ヤングケアラー」と自覚した子もいる。

・勉強が得意であっても、学校に行きにくい生徒はいる。

・教科によって、ボランティアさん(ミシンを使うときなど)が来ている様子も小学校では見られる。

・より多くの大人と接する機会も多くなればと思う。

(青木会長)

・生徒会活動はどんな委員会があるのか。全員入るのか。

(校長)

・委員会紹介、活動の様子など。

(青木会長)

・生徒会長の選挙の仕方はどうなっているのか。

(校長)

・選挙管理委員会を主催に運営している。

(青木会長)

女子が多いのかな。

(齋藤委員)

年代的に女子の方が、より活発に活動している傾向もあるのかと思う。

(小河委員)

明治地区の小中学校の管理職は、女子が多いです。

(三觜委員)

市村委員の意見に賛同することが多かった。

(青木会長)

改めて学校評価を読んで見ると、今後の課題も見つかるだろう。現状は、生徒、地域、学校ととても良い状況にあると思う。さらに良くなるようにしていきたい。

学校評価は、昨年度まで学校評議委員さんも関わっていた。今後、この委員会のメンバーが関わってくるのかと思うが。

(校長)

現状は、まだ、保護者さん以外の方々は学校行事などに伺う機会もまだ少ない。今後、学校に来る機会（行事など）に関わることで、より学校の様子がわかってもらえればと思う。

(青木会長)

今後、この委員会の運営の仕方を考えて行きたいが。

(校長)

不登校対応について、より対策を考えていきたい。

(青木会長)

地域、行政、学校、家庭がどのように関わっていけるかと思うが、あまりにも広くの門戸を開けても難しい。まず、地域と学校、などの取組から関わるができないだろうか、と思う。外部の方々とも意見交換をしているが、この地域で実際に行うことができることはなんだろう、と考えている。

(岩淵委員)

かるがもさんが開放している時間は、だれが対応しているのか。

(市村委員)

地域の大人が対応している。

(小河委員)

対応している大人も、人数に限界もある。より多くの方々の協力を得られればと思う。

(市村委員)

大学生の応援なども考えている。

(小河委員)

明治地区のふれあいネットで、コミスクの話題になっている。他地区の情報交換をもしている。会長が、輪番になっているので、1年で終わると慣れてきたところで終わってしまうので、輪番はどうかという案がでています。

(青木会長)

「行きたくなる学校」ってどんな学校なんだろう。羽鳥中学校をどうしていったらいいだろうか。次回から、このような方向性を考えていきたい。学校側の意見も尊重していきながら、運営していきたい。

次回12月11日(月)です。それまで、色々考えてきてください。

3. 次回の会議日程

2023年12月11日(月) 13:30 本校図書室

4. 閉会